

個別の教育支援計画（〇〇立〇〇小学校）記入例

A - 1

A 児童に関する記載

平成〇〇年度～ 年度

初回記入年月日 平成〇〇年〇月〇日

初回記入者氏名（ 〇〇 〇〇 ）

〇本人にかかわる基本事項

ふりがな 児童氏名	〇〇 〇〇		性 別 (男)	生年月日 平成〇〇年〇月〇日
出身園等	〇〇立〇〇 (幼稚園) 保育園 電 話 ()			
児童住所	〒 -			
保護者氏名 (続 柄)	〇〇 〇〇 (父)		連絡先 緊急連絡先	(自宅) 〇〇〇-〇〇〇〇 (母親職場) 〇〇〇-〇〇〇〇
保護者住所	〒 -			
家 族 構 成	続 柄	氏 名	職業・学校等	その他特記事項 父親は平成〇年から単身赴任中
	父	〇〇 〇〇	〇〇会社	
	母	〇〇 〇〇	〇〇会社	
	姉	〇〇 〇〇	小学〇年生	
担 任 氏 名	1 年	〇〇 〇〇	2 年	3 年
	4 年		5 年	6 年
医療機関			診 断 等	
通院の有無〔 (有) ・ 無 〕 医療機関名：〇〇病院〇〇科 主 治 医：〇〇〇〇D r . 電 話： ()			医師による診断の有無〔 (有) ・ 無 〕 診 断 名：広汎性発達障害，ADHDの疑い 診断年月：平成〇年〇月 手 帳：無し	
通院の状況：平成〇年〇月に幼稚園の勧めで受診。 現在は不定期に通院。			服薬の状況：調子が悪い状況が続くときには、 不安や緊張，興奮などの精神症状を改善する 薬を処方されている。(薬名〇〇〇〇〇)	
生育歴・療育・教育の状況等				
生 育 歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児検診…ひどいかんしゃくを起こし，〇〇病院の受診を勧められる。その時点では診断はつかず，言葉が遅いので言語指導を始める。 ・ 4歳…幼稚園に入園。集団活動に参加できない。 ・ 5歳頃…気持ちの切替が難しく幼稚園で時々パニックを起こす。教員が1対1で対応する。 ・ 6歳…〇〇病院で「広汎性発達障害」「ADHDの疑い」の診断を受ける。 			
関 係 機 関	療育機関	〇〇療育センター 〇〇〇〇言語聴覚士 月2回通所，言語の指導。発音訓練，落ち着いたやりとり等に取り組む。		
	支援機関			
	そ の 他	学童保育で，放課後に学習支援を受けている。		
検査結果等	WISC-III(〇〇病院にて平成〇年〇月) 全IQ=〇〇，VIQ=〇〇，PIQ=〇〇			

児童氏名 ()

○保護者・幼稚園・保育所等からの引継ぎ事項

本人の特徴にかかわること（性格，得意なこと，苦手なこと等）			
幼稚園等から	<ul style="list-style-type: none"> 好きな絵本を見たり，玩具で遊んだりすることは続けてできる。 友達は好き。関わっていきたいが，カッとなると友達に手が出てしまう。 字を書いたり絵を描いたりすることが苦手である。 優しい女児の声かけには応じやすい。 	保護者から	<ul style="list-style-type: none"> 水遊びが好き。虫や動物が好き。服のタグや感触にこだわる（苦手）。 着替え等は自力ででき始めた。「いやだ」と言い始めると頑固になり着替えないことがある。 大きな音や人混みの雰囲気などが苦手である。
現在までの様子及び支援（◎幼稚園等，○保護者，※他の機関からの引継ぎ・連絡事項も含む）			
		本人の様子	今までの支援・現在行っている支援
学		※話を最後まで聞けないことが多い。理解できる言葉は多い。	※「指示や説明は，ゆっくり，短い言葉で伝えてあげるように」と助言を受けた。（○○療育センター○○言語聴覚士より）
生活活動	行動	◎順番を待てないことが多い。割り込んだり，叩いたりする。	◎列の後ろに並ぶなど，その都度本人と確認する。
	対人	◎友達に関わりたい気持ちはあるが，集団活動に参加しにくい。	◎教師が本児と遊びを共有してから，集団遊びへと広げていく。
	その他	○初めてのことや慣れない活動は取り組みもうとしない。	○事前に写真や絵で何をするのか説明し，活動の見通しをもたせる。
将来の生活・現在の生活についての希望（将来◎・現在○）			
本人	○友達と仲良く勉強したり遊んだりしたい。		保護者 ◎いろいろなことに興味をもって取り組むようになってほしい。 ○友達を叩いたりせずに仲良く行動できるようになってほしい。

B 支援に関する記載（個別の指導計画を含む）

平成〇〇年度

児童学年・氏名：1年・（ 〇〇 〇〇 ）

記入年月日 平成〇〇年〇月〇日

記入者氏名（ 〇〇 〇〇 ）

支援の目標（長期目標◎・短期目標○）

- ◎ルールや順番を守って，集団活動に参加することができる。
- （1学期）仲良しの友達数人の中で活動するとき，ルールや順番を守ることができる。
- ◎苦手な活動や，初めてする活動でも一人で取り組むことができる。
- （1学期）苦手な活動や，初めてする活動は，個別の配慮を受けながら取り組むことができる。

支 援 内 容

		課 題	具体的な配慮・対応・支援策
学 校 生 活	学 習	（国語科） ・よく似た形の平仮名を正しく書くことができる。	・文字を書く際，文字の形や部分，運筆の様子などを分かりやすく言語化して伝え（擬音語や意味づけ），書き方を覚えやすくする。
	行 動	・ブランク遊びや給食の配膳等で友達が並んでいるとき，列の後ろに並んで順番を守ることができる。	・ロールプレイなどを意図的に設定し，順番を守って一番後ろに並んで待つ経験ができるようにする。また，逆の立場で，割り込みなどをされると嫌な思いをすることも経験しながら，相手の気持ちを考えるようにする。
	対 人	・仲良しの友達と一緒に，絵合わせゲーム等，ルールや勝ち負けのある遊びを最後まで楽しんでもらう。	・絵合わせゲーム等には，本児が好きな虫や動物の絵カードを使用して，興味を持続しながら遊びに取り組めるようにする。また，ルールを守ったり素直に勝ち負けを受け入れたりした時には称揚し，遊びの中での適切な言動が定着するようにかかわる。
	そ の 他		
家 庭		・初めてする活動や初めて行く場所で不安なく過ごすことができるように，事前に絵や写真で説明したり，本番前にリハーサルをしたりして，イメージや見通しがもてるようにする。	
関係機関		・定期的にスクールカウンセラーに相談する。どういう時に，どういう場面で何が苦手かを障害特性の面から確認し，支援方法について助言を受ける。	

児童学年・氏名：1年（ 〇〇 〇〇 ）

支援会議等の記録

〔日時〕 〇〇年〇月〇日	〔参加者〕 校長，教頭，特別支援教育コーディネーター，生徒指導主事，学級担任，学年主任，養護教諭	〔協議内容，確認事項等〕 本人の状況と今後の支援の在り方について確認。
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕

支援内容の評価

記入年月日 平成 年 月 日

記入者氏名 （ ）